

「CSW68 報告会」を4月29日（月・祝）にオンラインで開催しました。会員を中心に34名が参加し、アンケートでは回答者の66.7%が「大変良かった」、20%が「良かった」と大変好評でした。

参加された皆さんからは、「最も印象に残ったこと」として、次のようなコメント（抜粋）が寄せられました。

- ・ 国連の動きを垣間見れて良かった。若者が当事者意識で動いているのが、頼もしい。
- ・ ユース参加者の報告に、感銘を受けるとともに、Action を続けてもらいたいと期待
- ・ 参加されたユースの報告がすばらしかった。参加の目的をしっかりと意識し、意欲的に参加されている様子がよくわかった。その場限りにせず、自分自身が今後なすべきことをしっかり考え、ユース同士のつながりをつくって、今後の活動につなげていこうとされている姿勢が感じ取れた。今回考えたことを是非、実践して欲しいと思う。
- ・ 若手派遣のお二人が、「大切なのは団結し、次に繋げていくこと」ということをすでに実践に移していることが素晴らしいと思いました。
- ・ ユースお二人のしっかりしたプレゼンと今後を見通した縦横をつなぐ仕組みづくりの提言
- ・ ユースの発表者2人の行動力とそれをサポートして下さる方々の熱い思い
- ・ 人権の問題として考えること
- ・ サイドイベント・北欧大臣評議会主催の会議（経済的自由を実現する男女平等の未来）に参加したユースの感想の中で、ジェンダー先進国とは思えないほどの大臣たちの謙虚な姿勢、ジェンダー平等に向き合う志の高さに感銘を受けたということ。
- ・ お若い方お二人が経験されたこと、問題点、これからへのご抱負等をしっかりと把握してご報告され感銘しました。
- ・ 先輩のアドバイスで初めて若手の参加者自身が動かなければならないことに気づいて、早速行動を起こされていることがわかったこと。
- ・ JAUW のシニアメンバーが若い世代をサポートしている様子を嬉しく思いました。
- ・ 特に、派遣された若手2人のご報告内容が力強く、頼もしく思えました。同時に、派遣者の今後の活動への支援やフォローこそが派遣事業の真の意義と未来につながるように思いました。
- ・ 若い二人がこれからも積極的に関わりたいと述べていたこと
- ・ ユースのパフォーマンスで終わらせないと言葉

ユースの活躍、健闘を讃えるコメントが大半を占め、ユースの今後に期待が寄せられていること、さらにシニアのユースとの協働が課題であることが示されました。